

第4回新穂地域づくり協議会総会概要の お知らせと年会費納入のお願いについて

新穂地域づくり協議会では、令和2年4月17日（金）に総会を開催しましたので、別添資料により、その概要をお知らせします。

総会では全ての議事が承認・議決され、引き続き、集落の活動支援事業（自治会活動保険、集落活動助成）や地域全体の活性化事業（合意形成システム形成事業、情報発信事業、4つの部会事業）に取り組み、地域の暮らしを支え、地域活性化を推進していくことになりました。

つきましては、新穂地域に暮らす一般会員の皆さまから、協議会活動経費に充てるための年会費をご負担いただいているところですが、今年度につきましても、特段のご理解とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

なお、年会費は、強制ではありませんが、1世帯1,000円を目安とさせていただきますので、後日、集落長を通じ年会費納入の封筒が配布されましたら、ご賛同くださいますよう、お願い申し上げます。

令和2年5月8日

新穂地域づくり協議会
会長 後藤 勝 弥

【別添資料】

- 令和元年度事（平成31年度）業報告書・収支決算書
- 令和2年度 事業計画書・収支予算書

**令和元年度（平成31年度）
事業報告書・収支決算書**

新穂地域づくり協議会

令和元年度（平成31年度）新穂地域づくり協議会 事業報告書

1 組織管理費

(1) 会長・副会長会議

回	開催日	場 所	内 容
1	4月18日(木)	新穂行政 SC	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度実施事業について 第1回役員会協議題について
2	5月14日(火)	新穂行政 SC	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティスクールへの参画について 新穂地区合同防災訓練の実施日について
3	6月5日(水)	新穂行政 SC	<ul style="list-style-type: none"> 第2回役員会協議題について 地域づくり通信 (No. 19) の記事校正について 新穂ダム桜保全活動&一斉清掃プラスワンについて 新穂地区合同防災訓練について
4	7月26日(金)	新穂行政 SC	新穂地区合同防災訓練ワークショップについて
5	10月18日(金)	新穂行政 SC	新穂地区合同防災訓練直前会議について
6	11月29日(金)	新穂行政 SC	新穂地区合同防災訓練反省会議について
7	12月11日(水)	新穂行政 SC	生活安心部会員構成の拡充について

(2) 役員会

①第1回役員会

日 時	平成31年4月25日(木) 18時30分～
場 所	新穂行政 SC 第3学習室
出席者数	20人
議 事	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度事業計画及び収支予算について 集落活動支援事業助成金交付規程の改正について

②第2回役員会

日 時	令和元年6月26日(木) 18時30分～
場 所	新穂行政 SC 第3学習室
出席者数	21人
議 事	<ul style="list-style-type: none"> 協議会年会費の収入状況について 新穂ダム桜周辺整備事業について 春駒&のろま人形上演会について 新穂地区合同防災訓練の実施について 地域活性化部会備品貸出要綱の制定について

③第3回役員会

日 時	令和2年4月3日(金) 18時30分～
場 所	新穂行政 SC 第2・3学習室
出席者数	16人
議 事	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度（平成31年度）事業報告及び収支決算報告 令和2年度事業計画及び収支予算（案）について

2 集落の活動支援事業

2-1 集落活動支援事業（自治会活動保険）

(1) 自治会活動保険への加入

契約会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取扱代理店：奥田保険）
保険料	227,470円
保険期間	令和元年6月1日～令和2年6月1日
保険支払	1件受理

2-2 集落活動助成（申請数 19件）

集落名	対象事業	交付額	事業内容
潟上	イベント支援事業	10,000円	トキマラソン施設エイド設置、交流、地域PR
	イベント支援事業	25,000円	潟上温泉ホテル祭による地域活性化
下大野	イベント支援事業	26,000円	下大野夏まつりでのクーラーボックス購入
北方	環境美化支援事業	10,000円	集落内道路の清掃活動
	集落間連携支援事業	10,000円	新穂地区運動会での物品購入
	イベント支援事業	15,000円	新穂北方竹の宵の開催
郷平	環境美化支援事業	24,000円	集落内道路の清掃活動
	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	10,000円	ハンドマイクの購入
馬場	環境美化支援事業	5,000円	集落内駐車場の草刈り
	イベント支援事業	30,000円	集落一日行楽のレンタカー費用
舟下	イベント支援事業	35,000円	帰省客を歓迎する夏の鬼太鼓祭りの開催
島	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	35,000円	ヘルメットの購入
長畝	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	35,000円	ヘルメットの購入
武井	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	35,000円	ストーブの購入
上大野	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	35,000円	ガス炊飯器の購入
上新穂	環境美化支援事業	29,000円	集落センター周辺の山茶花植栽
青木	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	14,000円	消火器の購入
正明寺	イベント支援事業	12,000円	集落集会所での事業で使用する座椅子の購入
瓜生屋	イベント支援事業	35,000円	集落センターでの事業で使用する座椅子の購入
新穂	防災資機材・備蓄物資等整備支援事業	35,000円	非常食の購入
15集落（20件） / 合計		465,000円	—

※対象事業：1. 集落間連携支援事業、2. イベント支援事業、3. 環境美化支援事業、4. 大学生等の受入れ支援事業、5. 子育て支援事業、6. 空き家対策支援事業、7. 防災資機材・備蓄物資等整備支援事業

3 地域全体の活性化事業

3-1 合意形成システム形成事業

(1) 代議員（集落長）会議

回	日時	場所	出席数	内容
1	8月1日(木) 18時30分～	新穂行政 SC 第2・3 学習室	35人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災マップ説明（防災管財課） ・合同防災訓練に向けたワークショップ ・新穂地区合同防災訓練打合せ
2	10月21日(月) 18時30分～	新穂行政 SC 第2・3 学習室	30人	合同防災訓練直前会議
3	12月4日(水) 18時30分～	新穂行政 SC 第2・3 学習室	29人	合同防災訓練反省会議
4	令和2年 1月24日(金) 13時30分～	新穂行政 SC 第3 学習室	24人	※事務嘱託員会議 新穂地域づくり協議会の運営について

3-2 情報発信事業

(1) 地域づくり協議会ホームページ

（年間使用料 11,988 円）

(2) 新穂地域づくり通信発行（vol. 19～vol. 20） 各戸回覧

	発行日	内容
1	5月10日 (第18号)	○第3回総会を開催 ・新役員の選任 ・H30年度収支決算について ・H31年度収支予算及び各部会の主な事業について
2	6月10日 (第19号)	・年会費、賛助会費、寄付金の集計報告について ・集落活動支援事業助成金活用の促進について ・春駒・のろま人形上演会スケジュール・演目等のご案内 ・自治会活動保険の内容についてお知らせ ・新穂地域づくり協議会各部会員の随時募集についてお知らせ
3	12月10日 (第20号)	・新穂地区合同防災訓練の実施結果について ・新穂ダム桜苗木植樹の取り組みについて ・春駒・のろま人形上演会の実績結果について ・コミュニティスクール「あいさつ祭り」の取り組みについて ・地域活性化ビジネスチャンス講演会について

3-3 環境整備費（環境整備部会）

(1) 部会活動費

① 部会会議

回	日時	場所	出席数	内 容
1	5/30(水) 19時～	新穂行政 SC 会議室	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・年間事業計画及び事業予算について ・新穂ダム桜保全作業の実施について ・外来植物注意喚起チラシについて
2	8/30(金) 19時～	新穂行政 SC 会議室	6人	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備部会の事業実施状況について ・新穂ダム桜保全作業の今後の計画について ・外来植物注意喚起チラシの配付について
3	2/25(火) 18時30分～	新穂行政 SC 会議室	5人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度事業報告について ・令和2年度事業計画について ・外来植物注意喚起チラシの配付について

(2) Save Our Sakura! 新穂ダムの桜を救おう！ 一桜の名所復活を目指してー

回	日時	場所	出席数	内 容
1	6/29(土) 8時～	新穂ダム 右岸	27人	<ul style="list-style-type: none"> ・桜周辺の雑木等の伐採・除去 ・桜に絡みついたクズやフジなどのツル切り ・昼食にカレーを提供
2	11/24(日) 8時30分～		19人	<ul style="list-style-type: none"> ・桜植樹に伴う雑木伐採 ・雑木処理
3	12/1(日) 8時30分～		28人	<ul style="list-style-type: none"> ・桜植樹（20本） ・雑木処理 ・昼食に豚汁とおにぎりを提供

【新穂ダムの桜を救おう！の取組み模様】



桜苗木の植樹前に、老木、雑木を伐採処理 (11/24)

20箇所に桜苗木の植栽が完了 (12/1)



3-4 伝統文化費（伝統文化部会）

(1) 部会活動費

① 部会会議

回	日時	場所	出席数	内容
1	5/30(木) 19時～	新穂行政 SC 会議室	8人	・年間事業計画及び事業予算について ・春駒&のろま人形上演会開催について ・探訪コースの設定について
2	6/11(火) 19時～	新穂行政 SC 会議室	7人	・春駒&のろま人形上演会について ・探訪コース設定に係る箇所選定について
3	7/8(月) 19時～	新穂行政 SC 会議室	8人	・探訪箇所の選定について ・三校長との懇談会について
4	8/23(金) 16時～	新穂行政 SC 第三学習室	9人	・郷土学習への取組みと地域との連携について
5	9/9(月) 19時～	新穂行政 SC 会議室	6人	・探訪コース及び散策マップについて
6	11/24(日) 9時～	地区内一円	10人	・探訪コース設定に向けた文化財巡り
7	2/13(木) 19時～	新穂行政 SC 会議室	7人	・平成31年度事業報告について ・令和2年度事業計画について

(2) 春駒&のろま人形上演会

月 日	7月27日(土)～8月11日(日)の土・日の計6回
場 所	新穂地区公民館 第三学習室
入場数	大人 147人、子ども 31人、その他 2人 計180人
内 容	春駒の上演と、のろま人形の廣栄座、新青座が日替わりで「生地蔵」「そば畑」等6題目を上演。

(3) 立志元服式支援

内 容	1月11日(土) トキのむら元気館 新穂中学3年生 23人 ・公家や武家が成人を祝った元服の儀式になぞらえ、中学3年生が将来について考える機会を持つ。紅白饅頭の提供。
-----	--

【新穂地区公民館での春駒・のろま人形上演会】



のろま人形：新青座「生地蔵」(8/11)

3-5 生活安心費（生活安心部会）

(1) 部会活動費

① 部会会議

回	日時	場所	出席数	内容
1	6/6(金) 19時～	新穂 SC 会議室	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度（平成31年度）事業計画について ・コミュニティスクールとの連携について ・新穂地区合同防災訓練について ・部会員の募集について
2	3/5(木) 18時30分～	新穂 SC 第1学習室	—	<ul style="list-style-type: none"> ・事業・決算報告、事業計画・予算案について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ⇒書面決議

(2) 新穂地区合同防災訓練

① 合同防災訓練関係会議（第2回役員会）

日 時	6月26日（木） 18時30分～
場 所	新穂 SC 第3学習室
出席者	協議会役員15人、協力団体3人、事務局3人 計21人
内 容	新穂地区合同防災訓練実施要領について

② ワークショップ・合同防災訓練事前会議（兼代議員会）

日 時	8月1日（木） 18時30分～
場 所	新穂 SC 第2・3学習室
出席者	自主防災組織代表者20人、協議会役員3人、生活安心部会員3人、消防本部2人、消防団1人、防災管財課3人、事務局3人 計35人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災マップに基づく避難場所及び避難経路について ・洪水・土砂災害を想定した逃げ地図づくり（グループワーク） ・合同防災訓練実施要領の確認

③ 合同防災訓練直前会議（兼代議員会）

日 時	10月21日（月） 18時30分～
場 所	新穂 SC 第3学習室
出席者	自主防災組織代表者21人、協議会役員2人、消防本部2人、消防団1人、事務局4人 計30人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練及び安否確認訓練の実施方法について ・安否確認訓練の支援体制等について ・合同防災訓練実施のフローチャートについて ・合同防災訓練実施報告書について ・武道館及び行谷小学校体育館への避難の際の留意点について ・防災講演会について

④ 新穂地区合同防災訓練

日 時	11月10日(日) 9時～11時
場 所	各集落避難場所、新穂行政サービスセンター
参 加 者	各集落住民、自主防災組織、消防本部、消防団、民生員・児童委員、協議会役員、事務局 延べ552人
訓練内容	避難誘導訓練、要支援者安否確認訓練、情報収集伝達訓練、防災講演会

⑤ 合同防災訓練反省会議(兼代議員会)

日 時	12月4日(水) 18時30分～
場 所	新穂SC 第2・3学習室
出 席 者	自主防災組織代表者19人、協議会役員3人、生活安心部会員1人、消防本部2人、消防団1人、事務局3人 計29人
内 容	・合同防災訓練の反省点・課題について ・今後の防災訓練、防災活動の方向性等について

(3) 災害時緊急井戸の募集・登録

応募数	3件	検査数	3件	登録数	3件
-----	----	-----	----	-----	----

(4) 子どもの居場所づくり事業

内 容	潟上地内の空き地を利用した子どもの遊び場をつくるため、手作りの大型遊具の作製費用を助成するとともに、作製に参加
実施日	作製日：7月9日(火)、7月10日(水)、7月30日(火)
参加者	潟上集落住民、協議会役員、生活安心部会員

(5) コミュニティ・スクール「あいさつ祭り」支援

内 容	学校との交流・連携を図るため、新穂地区学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が主催する、「あいさつ祭り」への支援として、広報・啓発物資の作製費を助成。また、新穂地区小中学校で実施したあいさつ祭りに参加
実施日	6月7日(金)、10月8日(火)
参加者	協議会役員、事務局

【新穂地区合同防災訓練(11/10)】



消防団新穂中隊が安否確認訓練に集結



日本防災士会新潟県支部による防災講演会

3-6 地域活性化費（地域活性化部会）

(1) 部会活動費

① 部会会議

回	日時	場所	出席数	内容
1	6/3(月) 18時30分～	新穂 SC 会議室	9人	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度の部会運営について ・「夏まつり」「朱鷺夕映え市」支援について ・まちなか空き家の利活用について 備品貸出要綱を作成する ・自然や農林水産を活用した体験型イベント・ 農業体験ツアーについて 新穂地区探訪コースの設定検討 ・講演会、ワークショップの開催について 11/中下旬を実施目途 ・その他 地域活性化部会員増強
2	R2 1/22(水) 17時30分～	新穂商工会 集会室	8人	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度事業の結果報告について ・新穂ふるさと夏まつり ・鬼太鼓 inにいぼ・朱鷺夕映え市 ・まちなか空き家の利活用支援 ・新穂地区探訪コースの設定検討 ・講演会、ワークショップの開催 ○今後の部会運営について
3	R2 3/12(木) 17時30分～	新穂商工会 集会室	—	<ul style="list-style-type: none"> ・事業・決算報告、事業計画・予算案について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ⇒書面決議

② 講演会・ワークショップの開催

日時	11月28日(木) 18時～21時
場所	新穂商工会館 集会室
参加数	12人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「地域の課題を仕事にする」 講師：多田 朋孔氏 (NPO 法人地域おこし 理事・事務局長) ・ワークショップ「アイデア核融合と7種類22分類のビジネスモデルの型」

③ まちなか空き家利活用支援

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新穂地区内の空き家等を活用し、起業を目指す或いは、地域活性化を目指すための事業を行おうとする、協議会構成員または構成員を含む団体に対し備品を貸し出すための要綱を整備。貸出申込み実績なし。 ・トライアル用空き家の確保 本間邸（旧八幡鍛冶屋）使用の確約を得た。
----	--

④ 自然や農林水産業、祭礼等の伝統行事を活用した体験型イベントや農業体験ツアーの開催等の検討（新穂地区探訪コースの設定検討）

内容	環境整備部・伝統文化部との合同会議で連携を図った。(計画立案中)
----	----------------------------------

(2) 地域2大イベント支援

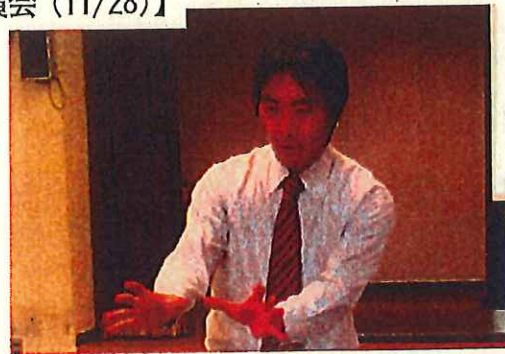
① 新穂ふるさと夏まつり (支援)

月 日	8月14日(水) 18時～
場 所	新穂行政サービスセンター横特設会場
内 容	盆踊り、出店、芸能等イベントに対する人的支援

② 鬼太鼓 in にいば・朱鷺夕映え市 (協賛事業)

月 日	10月13日(日) 10時～17時
場 所	新穂行政サービスセンター横特設会場
	台風接近によりイベントは中止
内 容	13日のイベントは中止となったが、朱鷺夕映え市のイベントの一環として新穂地区のクリスマスセールを企画。12月22日に商工会館にてクリスマス抽選会を実施。

【ビジネスチャンス講演会 (11/28)】



4 その他

(1) 花見期間の新穂ダムえん堤開放 (協力)

期 間	4月10日(水) ～ 5月6日(月)
場 所	新穂ダムえん堤
内 容	佐渡市取組 ⇒ ・標識ロープ設置 (安全対策) ・仮設トイレ設置

(2) 新穂地区学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) への参加

月 日	5月17日、6月17日、8月23日、1月21日、2月19日
場 所	新穂中学校
内 容	小濱副会長が新穂地区学校運営協議会会長として会議に出席 ・地域住民・保護者等が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」事業についての協議等

(3) 伝統文化・環境整備・地域活性3部会の合同会議

月 日	2月26日(水) 10時～
場 所	新穂SC 応接室
出 席 数	6人
内 容	新穂地区探訪コース設定の検討について

新穂地区合同防災訓練アンケート結果

1 避難訓練・安否確認訓練、防災講演会について

Q1 今回の訓練に先立ち、水害の場合の避難場所をワークショップを通じて選定いただきましたが、選定した避難場所の集落住民への周知についてお聞かせください。

①	今回の避難訓練参加者だけに周知した。	3	15.0%
②	回覧などで集落全体に周知した。	11	55.0%
③	集落の会合に参加した住民に周知した。	2	10.0%
④	特に周知はしなかった。	1	5.0%
⑤	避難場所は従来の場所(集落公民館など)のため周知は不要	2	10.0%
⑥	その他(別記)	1	5.0%

Q2 今回の訓練を通じ、安全な場所に早めに避難する『自助』に対しての住民の意識は、どのように感じられたでしょうか。

①	避難開始が早く、自助の意識は高まったものと思われる。	6	30.0%
②	避難開始が遅く、自助の意識はまだ低いと感じる。	0	0.0%
③	個々の意識は分からない。(何ともいえない。)	13	65.0%
④	その他(別記)	1	5.0%

Q3 安否確認訓練は短い時間の中での取り組みでしたが、その成果等についてお聞かせください。

①	時間が少なく、訓練の成果は上がらなかった。	3	15.0%
②	一定程度の訪問ができ、このくらいの時間でも訓練の成果があった。	13	65.0%
③	集落で独自に訓練しているので、安否確認訓練は不要である。	2	10.0%
④	その他(別記)	2	10.0%

Q4 防災講演会の実施についてご意見をお聞かせください。

①	今後も講演会はやったほうがよい。	14	70.0%
②	講演会はなくてよい。	2	10.0%
③	講演会に出ていないので分からない。	4	20.0%
④	その他(別記)	0	0.0%
⑤	今後講演会を行う場合の希望するテーマ(別記)	0	0.0%

Q5 今回の合同防災訓練の反省点、課題などお気付きのことがありましたらご記入願います。(別記)

2 今後の防災訓練、防災活動の方向性等について

Q6 合同防災訓練を来年度実施することについてご意見をお聞かせください。

①	来年度も実施したほうがよい。	11	52.4%
②	来年度は実施しなくてよい。	3	14.3%
③	どちらともいえない。	7	33.3%
④	その他(別記)	0	0.0%

Q7 Q6で、①とお答えした方は、実施時期と実施内容についてご意見をお聞かせください。

ア 実施時期について

①	今回と同じくらいの時期(10月下旬～11月上旬)	10	76.9%
②	その他の時期(別記)	3	23.1%

イ 訓練実施内容について

①	今回同様、避難訓練・安否確認訓練を主とした内容	9	81.8%
②	その他の内容(別記)	2	18.2%
③	わからない。	0	0.0%

Q8 Q6で、②とお答えした方は、その理由をお聞かせください。(別記)

Q9 合同防災訓練を行うこと以外で、新穂地区の防災力の向上や地区住民の防災意識を高める活動として、ご提案いただけることがありましたらお聞かせください。(別記)

3 その他、ご意見がございましたらご記入ください。(別記)

Q1 今回の訓練に先立ち、水害の場合の避難場所をワークショップを通じて選定いただきましたが、選定した避難場所の集落住民への周知についてお聞かせください。

- ① 訓練直前に、自主防災会で全戸配布した。

Q2 今回の訓練を通じ、安全な場所に早めに避難する『自助』に対しての住民の意識は、どのように感じられたでしょうか。

- ① 避難が必要な世帯が少なく、避難することがかえって危険となるため別のやり方が必要
② 高齢者が多く、自助の避難行動は難しい。

Q3 安否確認訓練は短い時間の中での取り組みでしたが、その成果等についてお聞かせください。

- ① 消防団員のみが訪問したため成果の有無は不明
② 要支援者の確認に漏れがあり徹底できなかった。
③ 今後、足の不自由な人などをどのくらい見られるか(避難支援)。横のつながり、対応の確認が必要
④ 実施しなかった。

Q4 防災講演会の実施についてご意見をお聞かせください。 ※希望する講演テーマ

- ① 集落単位などで、地域の実態に応じた講演テーマ
② 他市町村での具体的な事例
③ 地震災害のテーマ
④ 長期の避難生活を生き抜くための防災
⑤ 被災地の事例(被災直後から復興までの教訓など)
⑥ 地震の対応

Q5 今回の合同防災訓練の反省点、課題などお気づきのことがありましたらご記入願います。

- ① 「要支援者」と「要援護者」の両方の言葉が使われており整理が必要
② 消防団、民生委員への本部からの協力依頼が遅い。
③ 避難所周辺の路上駐車の手配が必要
④ 近くに避難所がないため、警戒レベル3の時点で行政による移動手段の確保(バス手配)が必要(高齢化により移動が困難なため。)
⑤ 不参加だった集落での防災対策を知りたい。
⑥ 消防団の要支援者リストと集落で把握している家が合っていない。
⑦ (避難の際)体の不自由な人たちの対応をどうするか、民生委員との話し合いで推進したい。
⑧ (内閣府の)パンフレットでは全員避難となっているが、市は全員でなくてもよいと、説明が違っている。
⑨ (安否確認訓練で)集落、消防団、民生委員の集合することと、何を打合せするかの確認が周知されなかった。
⑩ 集落内での、被災時の動きや役割分担等が未確立
⑪ 防災ラジオの避難情報の放送を聞かない人が多かった。

Q6 合同防災訓練を来年度実施することについてご意見をお聞かせください。

- ① 8月に大学生との交流があり、その際、自主防災会で訓練することになっている。(その年の幹部会で決定する。)

Q 7 合同防災訓練を来年度も実施したほうがよい場合、実施時期と実施内容についてご意見をお聞かせください。

ア② 具体的な時期

- ① 他の行政関連行事と重複した日の開催であったことが最大の反省点。他の行事の少ない時期を検討すべき。
- ② 防災意識を高めるため、水害の発生時期に開催(6月から8月)
- ③ 佐渡市総合防災訓練の実施日

イ② 具体的な内容

- ① まずは、各自主防組織内部の役割分担を立案、確認の後、避難訓練・安否確認訓練を行う。

Q 8 合同防災訓練を来年度は実施しなくてよい場合、その理由をお聞かせください。

- ① 避難場所への避難であれば一度行えば来年実施する必要はないと思う。
- ② 水害、地震、大風、原発など避難方法が違うので個別に考える必要がある。
- ③ 台風19号の全国的被害で災害対応の意識は高まっており、2年に一度の実施でよい。
- ④ 共助は地域の防災意識が重要。中央(主催側)が先導し過ぎると、地域の防災意識が育たなくなる。集落での自主防災活動の支援の取り組みがよい。
- ⑤ 訓練自体は必要と思うが、協議会が主体での訓練に疑問を感じる。行政の役割。

Q 9 合同防災訓練を行うこと以外で、新穂地区の防災力の向上や地区住民の防災意識を高める活動として、ご提案いただけることがありましたらお聞かせください。

- ① 洪水の恐れのある地域には、各自で使用できる耐久性の高い土のうが常備されるとよい。(行政からの斡旋頒布)
- ② 防災ラジオでの訓練
- ③ 防災非常食の交換期限となったものを地域の集会時に配布しながら防災意識を高める。今回訓練で配布したことはよいと思う。
- ④ 集落組織は毎年変わるため、緊急連絡網や集落内の役割分担を確認する機会(会議)が必要
- ⑤ 災害時の怪我等の応急措置の講習。救急車が出勤要請に応えられない場合は、周辺住民が応急措置して病院へ搬送することになるため、救護の知識を広める活動が必要

その他 ご意見がありましたらご記入ください。

- ① 災害対応は、協議会協力のもと、行政SCが主催者となるべき。命令系統が混乱しているように感じる。
- ② 年1回の合同防災訓練よりも、日頃から取り組める内容で住民の意識アップを目指すほうが効果的
- ③ 防災ラジオの音声、雑音があり聞き取りにくい。
- ④ 外部スピーカーの音(サイレン)が聞こえなかった。
- ⑤ 訓練をイベント化せず、各集落でどのようにすれば自助・共助により人的被害を出さないようできるかを考える機会にしてもらいたい。
- ⑥ 合同防災訓練不参加の理由は、毎年、大学生との交流会の前に自主防災会で訓練を実施することにし、多く参加してもらえるようにしている。自主防災会の訓練は市の補助対象になる。年2回の訓練実施は困難
- ⑦ 県と契約して、特別支援学校を避難場所として位置づけてもらいたい。
- ⑧ 要支援者の現状確認を年1回、集落を通して行うべき。
- ⑨ 防災無線の電源入れ忘れ、故障の有無のチェックが必要
- ⑩ 避難場所や支援体制などについて、近隣集落と問題意識を共有する機会が必要
- ⑪ 毎年2月に自主防で訓練を実施しているので、合同防災訓練の日程が新年総会前に分かれば参加できる。

令和元年度(平成31年度)新穂地域づくり協議会 収支決算書

(単位:円)

【収入の部】

区分	当初予算額	修正・流用額・配当替	決算額	差引	内 訳
1 会費	882,000	0	903,409	18,000	一般会費 847件 835,797円 賛助会費 18件 67,612円
2 負担金、補助金及び交付金	700,000	0	635,000	▲ 65,000	佐渡市元気な地域づくり補助金 500,000円 「緑の募金」森づくり事業補助金 135,000円
3 委託金	0	0	0	0	
4 寄附金	10,000	0	18,944	8,944	6件
5 繰越金	644,320	0	644,320	0	H30繰越金
6 諸収入	1,000	0	3,007	2,007	預金利子、謝礼
合計	2,237,320	0	2,204,680	▲ 32,640	

(単位:円)

【支出の部】

区分	当初予算額	修正・流用額・配当替	決算額	差引	内 訳
1 組織管理費	【80,000】	【0】	【54,778】	【▲ 10,342】	
1 報償費	0	0	0	0	
2 費用弁償費	0	0	0	0	
3 事業費	0	0	0	0	
4 会議費	20,000	▲ 1,000	9,180	▲ 9,820	役員会茶代、監査陪
5 事務費	30,000	1,000	30,478	▲ 522	封筒印刷、通信運搬費
6 備品購入費	0	0	0	0	
7 交際費	30,000	0	15,120	▲ 14,880	役員弔慰金
2 集落の活動支援事業	【965,000】	【0】	【692,470】	【▲ 272,530】	
2-1 集落活動支援事業(自治会活動保険)	230,000	0	227,470	▲ 2,530	自治会活動保険料
2-2 集落活動支援事業(助成金)	735,000	0	465,000	▲ 270,000	
集落活動支援事業	735,000	0	465,000	▲ 270,000	15集落20件
3 地域全体の活性化事業	【1,164,000】	【0】	【981,828】	【▲ 182,172】	
3-1 合意形成システム形成事業	25,000	▲ 6,000	13,716	▲ 5,284	
1 代議員(集落長)会議精	5,000	1,000	5,508	▲ 492	代議員(集落長)会議茶代
2 地域住民ワークショップ	5,000	4,000	8,208	▲ 792	ワークショップ消耗品
3 講演会	10,000	▲ 6,000	0	▲ 4,000	
4 円卓会議	5,000	▲ 5,000	0	0	
3-2 情報発信事業	17,000	6,000	22,689	▲ 311	
1 ホームページ開設・運営	12,000	0	11,988	▲ 12	ホームページ開設・運営経費
2 地域づくり通信発行	5,000	6,000	10,701	▲ 299	地域づくり通信 印刷代
3-3 環境整備費(環境整備部会)	300,000	0	232,263	▲ 67,737	
1 部会活動費	300,000	0	232,263	▲ 67,737	新穂ダム桜保全活動2回 172,671円 外来植物注意喚起チラシ 53,400円 通信費、会議茶代 6,192円
3-4 伝統文化費(伝統文化部会)	70,000	74,000	115,258	▲ 28,742	
1 部会活動費	40,000	74,000	113,638	▲ 362	立志元服式紅白饅頭 13,090円 「私たちの郷土新穂」製作助成 90,000円 通信費、会議茶代 10,548円
2 春駒&のろま人形上演会	30,000	0	1,620	▲ 28,380	郷土芸能上演会鑑賞料用紙代
3-5 生活安心費(生活安心部会)	522,000	▲ 74,000	398,571	▲ 49,429	
1 部会活動費	142,000	58,000	197,434	▲ 2,566	子どもの居場所づくり支援 32,538円 コミュニティスクール活動連携 55,680円 トキコ子保育園駐車場防犯灯設置 102,300円 通信費、会議茶代 6,916円
2 新穂地区合同防災訓練	100,000	66,000	153,617	▲ 12,383	防災訓練参加者景品(バランスパワー等) 79,401円 防災演説講師旅費、資料コピー等 74,216円
3 災害時協力井戸	260,000	▲ 198,000	47,520	▲ 34,480	井戸登録費(3井戸) 井戸マップデータ作成費 16,500円
3-6 地域活性化費(地域活性化部会)	230,000	0	199,331	▲ 30,669	
1 部会活動費	130,000	0	99,331	▲ 30,669	ワークショップ・講演会 95,815円、 通信費、会議茶代 3,516円
2 地域2大イベント支援	100,000	0	100,000	0	夕映え市協賛金
4 積立金	【0】	【0】	【0】	【0】	
積立金	0	0	0	0	
5 予備費	【28,320】	【0】	【0】	【▲ 28,320】	
予備費	28,320	0	0	▲ 28,320	
合計	2,237,320	0	1,729,076	▲ 508,244	

収入合計 2,204,680 円

支出合計 1,729,076 円

差し引き 475,604 円・・・残金は次年度へ繰り越します。

監 査 報 告

新穂地域づくり協議会規約第19条に基づき、令和元年度(平成31年度)の監査を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 監査実施日 令和2年4月2日(木)
- 2 監査実施場所 新穂行政サービスセンター
- 3 監査に立ち会った役員 副会長 板垣 徹

4 監査の結果

会計に関する諸帳簿、預金通帳及び領収書を照合した結果、収支会計は適正に処理されていることを確認しました。また、実施事業については、役員及び事務局からの説明と各事業の関係書類並びに事業毎の収支により、事業報告書のとおり実施されていることを併せて確認しました。

令和2年4月2日

監 事

柴 山 春 樹



監 事

相 田 忠 明



**令和2年度
事業計画書・収支予算書**

新穂地域づくり協議会

令和2年度 事業計画概要

I 役員会・事務局

1 集落の活動支援事業

(1) 集落活動支援事業 ～集落コミュニティ活動の創成～

○事業方針：新穂地域づくり計画の理念・将来像を実現するための集落の取組を支援する。

事業方策	事業内容																				
1. 自治会活動保険	<p>地域住民が安心して集落活動に参加し、集落から地域づくり活動に参加の輪が広がるよう、集落活動及び協議会活動の補償制度を引き続き設ける。</p> <p>○集落活動支援事業（自治会活動保険）</p> <p>①行事活動中の第三者の身体の障害・財物の損壊による賠償事故 ②行事活動中の住民の傷害事故（死亡、後遺障害、入院、通院） ③住民以外の方への傷害見舞費用 ④行事の中止等による費用損害</p> <p>【補償例】 会議や研修会、レクリエーション行事、清掃活動、広報誌・回覧板の配布、火事場の後片付けなど。</p>																				
2. 集落活動助成	<p>「新穂地域づくり計画」で定めた地域づくりの理念及び将来像の実現のために、集落が実施する「集落活動支援事業」に要する経費の全部または一部を、限度額の範囲内で助成する。</p> <table border="1" data-bbox="311 1064 1364 1960"> <thead> <tr> <th data-bbox="311 1064 526 1131">対象事業</th> <th data-bbox="526 1064 1204 1131">事業内容</th> <th data-bbox="1204 1064 1364 1131">助成金の限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="311 1131 526 1265">①集落間連携支援事業</td> <td data-bbox="526 1131 1204 1265">○ 複数集落が実施する交流事業 例：集落活動等の相互参加、連合組織設置の協議等（既存事業を除く）</td> <td data-bbox="1204 1131 1364 2056" rowspan="7">1集落/年 3万5千円 （千円未満切り捨て）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 1265 526 1377">②イベント支援事業</td> <td data-bbox="526 1265 1204 1377">○ 集落が実施するイベントの開催 例：集落内外から参加者を受け入れるイベント等（集落内住民を対象とした既存事業を除く）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 1377 526 1512">③環境美化支援事業</td> <td data-bbox="526 1377 1204 1512">○ 集落が行う環境美化活動 例：花ロードの整備、空地などの草刈り等（空き缶等のゴミ拾い、側溝掃除を除く）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 1512 526 1624">④大学生等の受入支援事業</td> <td data-bbox="526 1512 1204 1624">○ 大学生等が行う調査研究活動等の受入 例：大学生等の活動支援、集落活性化策の検討、宿泊（民泊）場所の提供等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 1624 526 1736">⑤子育て支援事業</td> <td data-bbox="526 1624 1204 1736">○ 集落が行う子どもの居場所づくり事業 例：高齢者等との交流会、おもちゃ・絵本等の整備等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 1736 526 1848">⑥空き家対策支援事業</td> <td data-bbox="526 1736 1204 1848">○ 集落が行う空き家対策 例：空き家の現状把握、所有者との連絡調整、佐渡市空き家情報システムへの登録、移住希望者の受入等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 1848 526 1960">⑦防災資機材・備蓄物資等整備事業</td> <td data-bbox="526 1848 1204 1960">○ 集落が行う防災資機材及び備蓄物資等の整備事業 例：ヘルメットやハンドマイク、ポリタンク、備蓄用非常食、簡易トイレ、給水タンク及び給水袋等の整備等</td> </tr> </tbody> </table>			対象事業	事業内容	助成金の限度額	①集落間連携支援事業	○ 複数集落が実施する交流事業 例：集落活動等の相互参加、連合組織設置の協議等（既存事業を除く）	1集落/年 3万5千円 （千円未満切り捨て）	②イベント支援事業	○ 集落が実施するイベントの開催 例：集落内外から参加者を受け入れるイベント等（集落内住民を対象とした既存事業を除く）	③環境美化支援事業	○ 集落が行う環境美化活動 例：花ロードの整備、空地などの草刈り等（空き缶等のゴミ拾い、側溝掃除を除く）	④大学生等の受入支援事業	○ 大学生等が行う調査研究活動等の受入 例：大学生等の活動支援、集落活性化策の検討、宿泊（民泊）場所の提供等	⑤子育て支援事業	○ 集落が行う子どもの居場所づくり事業 例：高齢者等との交流会、おもちゃ・絵本等の整備等	⑥空き家対策支援事業	○ 集落が行う空き家対策 例：空き家の現状把握、所有者との連絡調整、佐渡市空き家情報システムへの登録、移住希望者の受入等	⑦防災資機材・備蓄物資等整備事業	○ 集落が行う防災資機材及び備蓄物資等の整備事業 例：ヘルメットやハンドマイク、ポリタンク、備蓄用非常食、簡易トイレ、給水タンク及び給水袋等の整備等
対象事業	事業内容	助成金の限度額																			
①集落間連携支援事業	○ 複数集落が実施する交流事業 例：集落活動等の相互参加、連合組織設置の協議等（既存事業を除く）	1集落/年 3万5千円 （千円未満切り捨て）																			
②イベント支援事業	○ 集落が実施するイベントの開催 例：集落内外から参加者を受け入れるイベント等（集落内住民を対象とした既存事業を除く）																				
③環境美化支援事業	○ 集落が行う環境美化活動 例：花ロードの整備、空地などの草刈り等（空き缶等のゴミ拾い、側溝掃除を除く）																				
④大学生等の受入支援事業	○ 大学生等が行う調査研究活動等の受入 例：大学生等の活動支援、集落活性化策の検討、宿泊（民泊）場所の提供等																				
⑤子育て支援事業	○ 集落が行う子どもの居場所づくり事業 例：高齢者等との交流会、おもちゃ・絵本等の整備等																				
⑥空き家対策支援事業	○ 集落が行う空き家対策 例：空き家の現状把握、所有者との連絡調整、佐渡市空き家情報システムへの登録、移住希望者の受入等																				
⑦防災資機材・備蓄物資等整備事業	○ 集落が行う防災資機材及び備蓄物資等の整備事業 例：ヘルメットやハンドマイク、ポリタンク、備蓄用非常食、簡易トイレ、給水タンク及び給水袋等の整備等																				

2 地域全体の活性化事業

(1) 合意形成システム形成事業 ～地域コミュニティ活動の創成～

○事業方針：地域アイデンティティを育む「住民参加の場」を確保する。

事業方策	事業内容
1. 代議員（集落長） 会議の開催	地域の課題や取組を集落と共有し、集落と連携して地域づくりに取り組む。
2. 地域住民ワークショップの開催	地域の様々な意見や課題を「話し合う」ことや「考える」ことを通して集約し、住民同士の連帯意識を創出する。
3. 講演会等の開催	地域防災や、その他、地域の力を高めるとともに、住民生活に役立つための講演会を開催する。
4. 地域と行政が「直接的・横断的」に「分野別」で協議	協議会の主要な事業等を推進するため、行政等と連携・協力を図り、地域づくりを進める。

(2) 情報発信事業 ～地域の魅力の創成～

○事業方針：積極的に地域を発信することにより、地域社会の意欲向上につなげる。

事業方策	事業内容
1. 新穂地区単独HP 開設など、インターネットを活用した情報発信	○新穂地域づくり協議会ホームページの運営 ※年間を通じ随時更新（委託）
2. 地域情報紙の発行	○新穂地域づくり通信の発行（随時）

II 環境整備部会

■ 地域全体の活性化事業

(1) 合意形成システム形成事業 ～地域コミュニティ活動の創成～

○事業方針：地域アイデンティティを育む「住民参加の場」を確保する。

事業方策	事業内容
1. 地域住民ワークショップの開催	○持続可能な環境社会の実現に向けて勉強会の開催（SDGs）
2. 講演会等の開催	
3. 地域と行政が「直接的・横断的」に「分野別」で協議	

(2) 暮らしを支える事業(1) ～地域の誇り・絆の創成～

○事業方針：新穂の豊かな自然と農山村ならではの風景・景観をみんなで守る。

事業方策	事業内容
1. 環境美化運動	○新穂ダムの桜を楽しみましょう -旧新穂ふるさと広場開放- 協力 ○Save Our Sakura!新穂ダムの桜を救おう! -桜の名所復活を目指して-(春・秋) (新穂ダム周辺への桜苗木の植栽) ○外来植物注意喚起パンフレットの配布 ○新穂地区探訪コースの設定検討 (伝統文化部会・地域活性化部会連携)
2. トキやホタルなどの生息環境整備	
3. 自然・景観などの現状を把握する機会づくり	

III 伝統文化部会

■ 地域全体の活性化事業

(1) 合意形成システム形成事業 ～地域コミュニティ活動の創成～

○事業方針：地域アイデンティティを育む「住民参加の場」を確保する。

事業方策	事業内容
1. 地域住民ワークショップの開催	○小中学校による新穂歴史民俗資料館を活用した郷土の歴史・文化の学習など、地域と小中学校との連携に関する協議 ○新穂地区における伝統文化に関する人材リストの作成
2. 講演会等の開催	
3. 地域と行政が「直接的・横断的」に「分野別」で協議	

(2) 暮らしを支える事業(2) ～地域の誇り・絆の創成～

○事業方針：新穂の伝統文化をみんなで守り継承する。

事業方策	事業内容
1. 伝統芸能・行事の後継者育成・継承と発表の場づくり	○立志元服式支援(3年生に紅白饅頭を提供) ○春駒&のろま人形上演会の開催 日時：7月25日～8月9日までの土・日 6回 13時30分～ 場所：新穂地区公民館 第3学習室 ○公民館主催「のろま人形講座」協力 ○新穂地区文化財探訪会の開催 ○新穂地区探訪コースの検討(環境整備部会・地域活性化部会との連携) ○伝統的用具(草鞋・しめ縄)作成技術の継承 ○新穂地区から輩出した偉業人生家跡地等の看板設置 ○能舞台等の保存・活用に向けた上演会開催の検討
2. 地域の歴史的文化的資源を把握する機会づくり	
3. 能舞台等の歴史的建造物などの保存・活用	

IV 生活安心部会

■ 地域全体の活性化事業

(1) 合意形成システム形成事業 ～地域コミュニティ活動の創成～

○事業方針：地域アイデンティティを育む「住民参加の場」を確保する。

事業方策	事業内容
1. 地域住民ワークショップの開催	○新穂地区合同防災訓練関係会議 ○保育園、小中学校との交流活動、連携強化の協議
2. 講演会等の開催	
3. 地域と行政が「直接的・横断的」に「分野別」で協議	

(2) 暮らしを支える事業(3) ～地域の誇り・絆の創成～

○事業方針：安心安全で温かい新穂をみんなでつくる。

事業方策	事業内容
1. 相互に支え合う生活困窮者支援	○新穂地区合同防災訓練の実施 ※令和元年度実施時期と同時期（他の行事と重ならない日を選定） ⇒令和2年10月25日（日）開催予定 （予備日：11月1日（日）予定） ○災害時協力井戸の募集・登録 ○災害時協力井戸ポンプ修繕費等補助 ○子どもたちの遊び場づくりの取り組みと支援 ※空き地等を活用した子どもたちの遊び場づくりの取り組み ○学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の事業への参画と支援
2. 交通安全・防犯・防災対策	
3. 地域全体での挨拶声掛け運動	
4. 出会いの場づくり	
5. 園、学校との交流活動	
6. 子どもたちの遊び場・居場所づくり	
7. 三世代交流	
8. 介護予防の環境促進	

V 地域活性化部会

■ 地域全体の活性化事業

(1) 合意形成システム形成事業 ～地域コミュニティ活動の創成～

○事業方針：地域アイデンティティを育む「住民参加の場」を確保する。

事業方策	事業内容
1. 地域住民ワークショップの開催	○講演会、ワークショップの開催
2. 講演会等の開催	
3. 地域と行政が「直接的・横断的」に「分野別」で協議	

(2) 活性化チャレンジ事業 ～地域の賑わい・産業の創成～

○事業方針：新穂の活性化にみんなでチャレンジする。

事業方策	事業内容
1. 若者や女性の起業支援	○地域2大イベント「夏まつり」「朱鷺夕映え市」支援 ○まちなか空き家の利活用
2. 新穂人材バンクの設立	・物品の貸し出し運営の継続 ・地域活性化部会で天神祭り（仮）期間中に本間邸を活用して駄菓子屋を運営し、空き家を利用した創業の課題を抽出
3. 自然や歴史文化、産業体験ツアー等の開催	○自然や農林水産業、祭礼等の伝統行事を活用した体験型イベントや、農業体験ツアーの開催等の検討
4. イベント・行事の復活・発展	・海外大学からの佐渡体験ツアーの計画立案への参画・支援 (令和2年は新型コロナ問題でツアー中止)

令和2年度 新穂地域づくり協議会 収支予算書

(単位:円)

収入の部

区分	前年度予算額	今年度予算額	増減	内訳
1 会費	882,000	890,000	8,000	一般会費 825件 825,000円 賛助会費 18件 65,000円
2 負担金、補助金及び交付金	700,000	700,000	0	佐渡市元気な地域づくり補助金 500,000円 緑化助成事業助成金 200,000円
3 委託金	0	0	0	
4 寄附金	10,000	13,000	3,000	
5 繰越金	644,320	475,604	▲ 168,716	令和元年度繰越金
6 諸収入	1,000	91,000	90,000	春駒&のろま人形上演会鑑賞料 90,000円 預金利子 外 1,000円
合計	2,237,320	2,169,604	▲ 67,716	

支出の部

(単位:円)

区分	前年度予算額	今年度予算額	増減	内訳
1 組織管理費	【80,000】	【60,000】	【▲ 20,000】	
1 報償費	0	0	0	
2 費用弁償費	0	0	0	
3 事業費	0	0	0	
4 会議費	20,000	15,000	▲ 5,000	総会、監査、役員会茶代 外
5 事務費	30,000	25,000	▲ 5,000	消耗品、封筒印刷、通信運搬費 外
6 備品購入費	0	0	0	
7 交際費	30,000	20,000	▲ 10,000	役員弔慰金・見舞金等
2 集落の活動支援事業	【965,000】	【965,000】	【0】	
2-1 集落活動支援事業(自治会活動保険)	230,000	230,000	0	自治会活動保険料
2-2 集落活動支援事業(助成金)	735,000	735,000	0	
集落活動支援事業	735,000	735,000	0	集落あたり上限35,000円×21集落
3 地域全体の活性化事業	【1,164,000】	【1,144,000】	【▲ 20,000】	
3-1 合意形成システム形成事業	25,000	19,000	▲ 6,000	
1 代議員(集落長)会議膳	5,000	3,000	▲ 2,000	代議員(集落長)会議茶代 外
2 地域住民ワークショップ	5,000	3,000	▲ 2,000	会議茶代 外
3 講演会	10,000	10,000	0	
4 円卓会議	5,000	3,000	▲ 2,000	
3-2 情報発信事業	17,000	128,000	111,000	
1 ホームページ開設・運営	12,000	118,000	106,000	ホームページ開設利用料 12,000円 ホームページ更新手数料 106,000円
2 地域づくり通信発行	5,000	10,000	5,000	地域づくり通信 用紙代 外
3-3 環境整備費(環境整備部会)	300,000	235,000	▲ 65,000	
1 部会活動費	300,000	235,000	▲ 65,000	新穂ダム桜植樹活動 230,000円 通信費、会議茶代 外
3-4 伝統文化費(伝統文化部会)	70,000	251,000	181,000	
1 部会活動費	40,000	172,000	132,000	立志元服式紅白饅頭 15,000円 偉人誕生の地看板設置 80,000円 文化財探訪会 30,000円 散歩マップ作成費用弁償 12,000円 草鞋づくり講習会講師謝礼 30,000円 通信費、会議茶代 外
2 春駒&のろま人形上演会	30,000	79,000	49,000	上演団体謝礼(3団体) 75,000円 鑑賞料用紙代 外
3-5 生活安心費(生活安心部会)	522,000	221,000	▲ 301,000	
1 部会活動費	142,000	85,000	▲ 57,000	コミュニテイスクール活動連携 40,000円 子ども居場所づくり支援 40,000円 通信費、会議茶代 外
2 新穂地区合同防災訓練	100,000	100,000	0	
3 災害時協力井戸	280,000	36,000	▲ 244,000	井戸登録費32,000円(3井戸) 災害協力井戸マップ作成 4,000円
3-6 地域活性化費(地域活性化部会)	230,000	290,000	60,000	
1 部会活動費	130,000	190,000	60,000	まちなか空き家利活用支援 80,000円 ワークショップ・講演会 100,000円 通信費、会議茶代 外
2 地域2大イベント支援	100,000	100,000	0	夕映え市協賛金
4 積立金	【0】	【0】	【0】	
積立金	0	0	0	
5 予備費	【28,320】	【604】	【▲ 27,716】	
予備費	28,320	604	▲ 27,716	
合計	2,237,320	2,169,604	▲ 67,716	